

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成24年6月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年6月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 163社 回答 151社 回答率 92.6%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	12社 8.0% (8.3)	23社 15.3% (8.9)	49社 32.7% (40.8)	51社 34.0% (31.8)	15社 10.0% (10.2)	150社	14社 9.5% (19.5)	24社 16.2% (15.6)	41社 27.7% (29.2)	40社 27.0% (22.7)	29社 19.6% (13.0)	148社
売上高	10社 6.6% (7.7)	28社 18.5% (9.6)	45社 29.8% (41.7)	50社 33.1% (32.1)	18社 11.9% (9.0)	151社	11社 7.4% (16.3)	17社 11.4% (18.3)	34社 22.8% (28.8)	46社 30.9% (22.9)	41社 27.5% (13.7)	149社
在庫数量	5社 3.4% (2.0)	21社 14.4% (19.9)	77社 52.7% (52.3)	39社 26.7% (20.5)	4社 2.7% (5.3)	146社	11社 7.6% (11.6)	26社 18.1% (19.0)	58社 40.3% (38.8)	33社 22.9% (20.4)	16社 11.1% (10.2)	144社
販売単価	0社 0.0% (0.0)	4社 2.7% (2.0)	80社 54.4% (68.4)	58社 39.5% (28.3)	5社 3.4% (1.3)	147社	2社 1.4% (0.7)	7社 4.9% (6.8)	41社 28.5% (36.5)	67社 46.5% (43.9)	27社 18.8% (12.2)	144社
収益状況 (粗利)	5社 3.3% (6.5)	14社 9.3% (11.1)	55社 36.7% (43.1)	57社 38.0% (31.4)	19社 12.7% (7.8)	150社	6社 4.1% (10.7)	17社 11.6% (16.0)	46社 31.3% (39.3)	48社 32.7% (20.7)	30社 20.4% (13.3)	147社
稼働率 (生産・加工設備)	3社 2.5% (4.7)	16社 13.3% (5.5)	49社 40.8% (54.3)	39社 32.5% (25.2)	13社 10.8% (10.2)	120社	5社 4.2% (8.8)	18社 15.3% (16.8)	40社 33.9% (43.2)	35社 29.7% (21.6)	20社 16.9% (9.6)	118社
入出庫の トラック台数	4社 2.8% (3.4)	9社 6.3% (4.7)	73社 51.0% (50.0)	42社 29.4% (35.1)	15社 10.5% (6.8)	143社	6社 4.3% (9.0)	18社 12.8% (13.2)	49社 34.8% (43.1)	46社 32.6% (27.1)	22社 15.6% (7.6)	141社
	現在の景況感					計	3ヶ月後の景況予測					計
	0社 0.0% (0.7)	2社 1.5% (2.0)	53社 38.7% (40.3)	46社 33.6% (36.9)	36社 26.3% (20.1)		137社	1社 0.7% (1.4)	28社 20.4% (21.8)	75社 54.7% (55.6)	28社 20.4% (16.2)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査(6月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 大型の見積りは依頼されるが、物件が動かない。政治不安から、予算を先に使ってしまおうとする動きがあるようだ。復興需要は、ハウスメーカー向けには出ている模様。
- ② 東鉄の値下げ、スクラップ価格の急落等、先安感が払拭されない中、売上げ減少となった。夏休み以降には回復傾向が見られると思うが、足下は前年の復興特需を割り引いても実需不足が否めない。やはり、大手メーカーはもとより、その下請け企業も海外へと生産を移している影響がじりじりと国内流通卸業に波及していると考えられる。金融円滑化法や雇用調整助成金の運用強化等、来年3月に向けて、リスク要因が増加し、与信管理が重要な課題だ。太陽光発電架台向けは、数少ない好調分野で、競合も厳しいが数量増が続きそうだ。
- ③ 5月に入ってから引合いが急激に減っている。価格が下がって来ており、在庫が微増となっている。分野によっては好調なところもある。特に震災地区で物置が足りなく、物置を扱っているところは潤っている。ただし、価格的には厳しい。
- ④ 自動車メーカーもついに国内減産を表明し、全体需要のしぼみ傾向に拍車が掛かる懸念が大きくなった。欧州問題の混迷と中国の減速等、先が読み難い情勢にあり、なおさら国内の停滞を感じざるを得ない。需要減、製品安の最悪パターンに入っており、需要喚起の起爆剤が一刻も早く欲しい。
- ⑤ 膠着状態にあった市況も、メーカーの値上げ交渉の進捗等もあり、底値感が見られる。ただし、今の需給状況では販売価格への転嫁は難しく、流通の負担となるのは明白である。メーカー、流通共に需給環境の整備に本腰で取り組むことが急務である。
- ⑥ 4月以降、前年比では厳しい状況が続いている。平行して、トラックの台数も減っている。

### 中板

- ① 相変わらず荷動きは低位横這いが続く。東鉄値下げ以降、価格も弱含み基調で、安値も散見され、採算は合わない。先行き不透明感が強く、我慢の状況が続く。

### 厚板

- ① 建材分野は前月に引き続き、基調が変わらず低水準の状況になっている。店売り分野も中小案件が少なくなってきた背景に伴い、需要環境は厳しくなっている。価格的には高炉メーカーの値上げはあるものの、昨今の低調な需要環境に加え、電炉メーカーの値下げもあり混沌とした状況である。夏場にかけて建設需要が増える見通しであり、期待するところ大である。

### 一般開金岡

- ① 大きな物件を持っている客先は、多少部件が出て来て良いが、小さい物件は出て来ていないため大変厳しい状態である。消費税が上がると建築の飛び込み需要があるが、一般市民には痛手である。

- ② 4月以降、営業日数が一番多い月にもかかわらず、引き続き前年同月比の各指標は10%弱減少して、歯止めが掛からない。過日、TVの中国ニュースでタイトルが簡易体漢字で「鋼鉄因局」として山東省青島港に隣接する青島新港の製鉄原料の山の如き滞貨を映していたが(青島港が満杯で急遽青島新港を増設したらしい)、これが解消しないと浦安の景気も上向かないのではないかと。

### 工工形鋼

- ① 需要の伸びが感じられない。しがって、市況は弱含みで推移していて、底がまだ見えない状況になっている。
- ② 荷動き低調の中、メーカーの7月契約販売価格値下げ発表で、現状、市況も下落傾向になっていて、在庫店はさらに厳しい状況が続いている。

### 異形棒鋼

- ① 3月以降、需要の盛り上がりがなく4ヶ月が経過。無理な販売はせず、在庫調整を実施。我慢して需要回復を待つ。
- ② メーカーネットも店売り単価もそれほど下がってはいない。低調であるが、そろそろ動きが出て来ると考える。7月鉄源の発表と東鉄単価に注目している。

### 平鋼

- ① 荷動きも悪く、相変わらず低位安定。価格も東鉄発表以降、弱含み傾向。

### 鋼管

- ① 4～6月の出荷量は1～3月比マイナス10%と低調で推移。7～9月は回復基調と見られるが、大きな反転は期待できない。

### 構造用鋼

- ① 需要動向は、自動車関連がエコカー補助金効果により堅調に推移しているが、補助金終了後の反動により下期は不透明である。建設機械関連については、円高環境下に加え、中国の減速等により全体的に勢いが弱まっているが、大型鉱山向けは堅調となっている。一方、店売りの荷動きについては変化なく、低調な動きが続いている。市況については、大手紐付き価格の影響もあり、引き続き弱含みとなっている。
- ② 店売り環境は引き続き活気がなく、引合いも多くないため、弱含みで推移。円高の長期化による海外シフトが進むことで、国内の環境悪化が懸念される。

### その他

#### <曲げ加工>

- ① 業界全体の不況に伴い、5月中旬より急激に加工生産が減少し、鉄鋼団地内の運搬車両も少なかったように思われた。営業活動においても、目ぼしい物件もなく、本年半期において、6月はおもわしくない数字となった。

#### <金属表面処理加工>

- ① 6月は紐付き、物件物とも計画通り。スポットは前月比で減少したものの、来月以降の引合いは活発であることから、極端な落ち込みはなく、7月以降も同水準以上での扱い数量を予測。物件物、紐付きを中心に、7月も安定操業にて推移出来そうである。